



取り付けただけではダメ！

住宅用火災警報器

いざという時のために、日ごろのチェックやお手入れをしましょう！

万が一のために、警報音が鳴った時の正しい対処法を知っておきましょう！

火災の時

警報音が鳴り、火災を見つけたら次のような対処をしましょう。



- 周りに**大声**で知らせましょう。
- **避難**しましょう。● **119番通報**しましょう。
- 可能なら初期消火を。

火災でない時

警報音停止ボタンを押すか、室内の換気をするとう警報音は止まります。以下のものに注意してください。



- 燻煙式殺虫剤
- 調理時に発生する大量の煙や湯気
- ホコリや小さな虫

電池切れの場合

「ピッ」と一定の間隔で鳴る場合は電池切れです。電池を新しいものに交換してください。
(電池寿命10年タイプは機器交換をしましょう)



機器異常の場合

「ピッピッピッ」と一定の間隔で鳴る場合は、機器の異常です。新しい火災警報器に交換してください。



住宅用火災警報器に関するお問い合わせ・ご相談は

豊後高田市消防本部

TEL 22-3108

火災警報器は維持・管理が大切です！

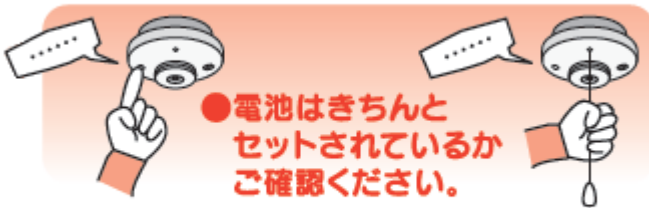
定期的に動作確認し、音を聞きましょう！

- ボタンを押す、又はひもを引いて動作確認をします。



- 定期的に動作確認をしましょう。
- 定期的に家族で火災時の警報音を聞いてみましょう。

音が鳴らない場合は？



- それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」ですので、取扱説明書をご覧ください。

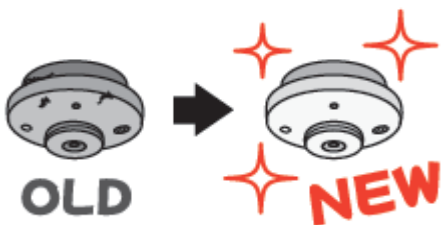
汚れた時の お手入れの仕方

- 汚れが付着した場合は、家庭用中性洗剤に布を浸して十分に絞ってから軽く拭き取ってください。



- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤の使用や、水洗いは絶対にしないでください。
- お掃除の方法は機種によって異なりますので、取扱説明書をご覧ください。

火災警報器は、最大10年を目安に交換しましょう！



多くの機種は、電池寿命10年（通常の使用状態）ですが、火災警報器本体も、センサー等の寿命により交換が必要になる場合があります。詳しくは取扱説明書を確認してください。

ご注意ください。

- 火災警報器の種類によっては、細かい注意点が異なります。
- お手入れや動作確認は、安定した足場を確保して行ってください。
- 煙の出る殺虫剤などを使用すると、警報音が鳴ることがあります。

火災警報器をビニール袋で覆うなどしてください。終了後はビニール袋を必ず取り外してください

